

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	株式会社ケイ・キャット
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>未整備エリアの多くは、条件不利地域と推測しますが、このような地域は、民間事業者にとって不採算地域であるため、民間事業者だけで基盤整備を行うには、限界があると思われます。</p> <p>そのため、自治体等を通じた公的支援を行いながら、整備を進めることが必要と考えます。</p> <p>ただし、その際には、それぞれの地域事情や地理的条件に合った最も効率的な方法を採用する等して、できる限り投入する公的支援を少なくすることが重要と思います。</p> <p>また、整備するインフラについては、技術の進展により様々なものが登場しておりますし、今後も高度化が進むものと思いますので、固定・無線を組み合わせる等、一つの技術に固執することなく、最適なものを選択できるようにしておくことが必要と考えます。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>是非ともブロードバンドを使いたいと誰もが思うようなサービス等を提供することが、利用率を高めるためには、最も重要であると考えます。</p> <p>幾ら安い料金で提供したり、使える環境を整備したりしても、使いたいと思うサービスがなければ利用が進まないのではないのでしょうか。</p> <p>しかし、このようなサービスは、一朝一夕で生み出せるものではありませんので、まずは民間事業者や国・自治体等が、それぞれ知恵を絞って、いろいろな手を打っていくことが重要です。</p> <p>当社としては、ハイビジョン番組の更なる充実や3Dテレビ番組の提供等、一層魅力あるケーブルテレビとすることで、ブロードバンドの利用率向上にも寄与できるものと考えております。</p> <p>国・自治体等においては、国際的にみて利活用が進んでいないと言われている行政・教育・医療の分野でICTが活用され、それにより国民生活が安全・安心かつ便利になるよう、環境を整えていくことが必要と思います。</p> <p>NTT東西については、もともと圧倒的な営業力を持っているうえ、本来参入できない放送サービスを「フレッツテレビ」といったブランドで、あたかも自社が提供しているかのような形で広告宣伝することで、ケーブルテレビ事業者の事業を少なからず圧迫していることから、このような活動を禁止する等、さらに規制を強化していただきたいと思います。</p> <p>また、NTT東西から切り離して、巨大なアクセス会社を設立するような話がありますが、そのようなことが実現すると、各地域で</p>

	<p>地道にアクセス網を構築しながら事業を展開してきたケーブルテレビ事業者は、全く太刀打ちできなくなりますので、反対いたします。</p> <p>同様に、以前から大手通信事業者が要望されていますNTT東西の光ファイバの1分岐貸しについても、多大な影響を及ぼしかねないため、引き続き実施するべきでないと考えます。</p>
--	--

以上